### Ⅱ 普及活動

# 1 美術講演・講座

講演講座を実施することにより、美術に対する理解を深め、教育普及に資するとともに展示事業の広報にも役立て、県民の 美術への親しみや関心を高める。

### (1) 講演会

期日	会場	講演名	講師	内容	参加力	人数
24.11.17	講座室	「父・中西利雄を語	中西利一郎	水彩画の革新者:中西利雄について,ご遺		52
		る」	(中西利雄長男)	族でなければ語れない、画家の人となりや 様々なエピソードなどについて、ご講演い		
				ただいた。		
					合計	52

### (2) 土曜講座

期日	会場	講演名	担当	内容	参加人数
24 • 4 • 14	講座室	震災と美術	市川政憲 (茨城県近代美術館長)	2011年3月11日の震災後、我々はどうしてきたか、そして今後どうしていくのか、芸術に何ができるのか。いくつかの作品や美術概念を手がかりとしながら考えた。	23
24 • 5 • 12	講座室	小川芋銭の世界	今瀬佐和 (茨城県近代美術館 主任学芸員)	牛久沼近くに住み、田園風景や河童などの水魅山妖、また老荘思想などの東洋文化を反映した作品を描いた小川芋銭。茨城県近代美術館で開催された「小川芋銭展」出品作を中心に、その自然観、人生観をたどった。	28
24 • 6 • 9	講座室	モダンアート入門	澤渡麻理 (茨城県近代美術館 副主任学芸員)	分かっているようで上手く説明できない「モダンアート」。茨城県近代美術館で開催された「ストラスブール美術館展」出品作にも触れながら、「モダンアートとは何か?」を、分かりやすく解説した。	29
24.7.14	講座室	没後50年 — 須田 国太郎の芸術	井野功一 (茨城県近代美術館 主任学芸員)	昭和の日本洋画壇を代表する須田国太郎は、京都帝国大学で学んだ美学美術史家としての顔も持っている。茨城県近代美術館で開催された没後50年記念展の序章として、須田の生涯と作品に迫った。	25
24.8.11	講座室	日本美術院の五浦 時代	中田智則 (茨城県天心記念五浦 美術館主任学芸員)	北茨城市に位置する五浦は「日本近代美術 発祥の地」といわれている。横山大観,下 村観山,菱田春草,木村武山という五浦の 画家たちの足跡を通して,このようにいわ れる理由(わけ)について解説した。	27
24.9.8	講座室	本県美術団体の草 分け=「白牙会」 を知っています か?	(つくば美術館副主任	1924(大正 13)年に結成された白牙会は, 1954(昭和 29)年に解散するまで,本県美 術の発展に大きく貢献した。忘れられつ つあるこの団体について,白樺派,関東 大震災,中村彝など関連する事項や人物 をひもときながら,その活動について紹 介した。	15

期日	会場	講演名	担当	内容	参加人数
24.10.13	講座室	企画展関連連続講座 1 明治〜大正期の水彩画:蒼原会の誕生まで 企画展関連連続講	山口和子 (茨城県つくば美術館 首席学芸員) 山口和子	企画展「水絵への情熱 ― 中西利雄と蒼原会の画家たち」のプロローグとして、大正末期に水彩画の研究グループ「蒼原会」が誕生するまでの、明治~大正期の水彩画について解説した。 写生会・展覧会をはじめ、地方支部の発足	28
24.11.10	<b>叶</b> /土-土	座 2 蒼原会の活動:水 彩画に情熱を傾け た男たち	шылы	や各地での講習会,機関誌の発行など,全 国の水彩を志す者たちに大きな刺激を与 えた蒼原会の様々な活動,またそれを支え た画家たちについて解説した。	20
24.12.8	講座室	建築家 吉村順三 の世界	春田友則 (茨城県近代美術館主 任学芸主事)	皇居の新宮殿の基本設計をしたことでも 知られる昭和を代表する建築家 吉村順 三。茨城県近代美術館の監修も手がけた彼 の、代表作を紹介しながら、その建築世界 と魅力に迫った。	18
25.1.12	講座室	イギリス生まれの ポップアート, ア メリカから世界へ		1950年代後半にイギリスで生まれ、その後アメリカから世界に広まっていったポップアート。当時の社会状況やカルチャーを交えながら、分かりやすく解説した。	13
25•2•9	講座室	茨城出身の知られ ざる英才 — 堀井 英男の版画と水彩	永松左知 (茨城県近代美術館学 芸員)	生前版画家として活躍した潮来町出身の 堀井英男(1934-1994)。象徴的な版画と,晚 年闘病しながら制作した詩情溢れる水彩 画との対比を中心に,茨城県近代美術館で 開催された展覧会をふりかえりつつ,郷土 作家の全貌に迫った。	13
25•3•9	講座室	茨城の近現代美術 を探る ― 県ゆか りの洋画家を中心 に	(つくば美術館副主任	茨城ゆかりの作家としては横山大観など 日本画家が有名だが、大正の頃より、県内 洋画界も大いに盛り上がっていた。中村 彝、辻永をはじめ有名無名問わず、戦前に 活躍した作家を多数紹介した。	15

合計 248

### (3) ギャラリートーク

(0) (1)	' /			
期日	会場	展覧会名	担当	参加人数
24 · 11 · 3	展示室	水絵への情熱 一 中西利雄と蒼原会の画家たち	山口和子 (茨城県つくば美術館首席学芸員)	24
24 • 11 • 25	展示室	水絵への情熱 — 中西利雄と蒼原会の画家たち	山口和子	30

合計 54

# (4) ワークショップ

期日	会場	講演名	講師	内容	参加人数
24 · 11 · 4	講座室	親子で楽しむ水彩画ワークシ	小野月世(水彩画家·	水彩画の技法体験を通して,	53
		ョップ「透明ないろ・不透明な	日本水彩画会監事)	出品作品について技法の上か	
		いろ」		ら理解を深める機会とした。	
•					合計 53

## (5) イベント (貸しギャラリー利用者による展示室でのギャラリートークなど)

期日	会場	講演名	タイトル	講師	参加人数
24 · 5 · 13	展示室	e[Art]展 ~アートでつながる ~	「アートでつながる」 CLOSING EVENT	エリザベス・ロブレス (作家) 他	117
24 • 5 • 26	展示室	アートウェーヴつくば第 18 回 展覧会 2012	身体ライブパフォー マンス	石田健二(パーカッショニスト), 佐藤友枝, 唐沢優江(ダンサー)	100
24 · 7 · 15	講座室	ヴィジュアル・コミュニケーシ ョン展	ワークショップ	田嵜裕季子(オーガナ イザー), 菊田真奈(作 家)	4
24 • 7 • 16	展示室	ヴィジュアル・コミュニケーシ ョン展	アーティストトーク	大日方欣一(ゲスト)	34
24. 7. 20	展示室	本橋成一&スズキコージ展 『BEFORE&AFTER 3・11』希望へ		大泉彰由樹(クリスタル ボウル),大泉究(ボイ ス・ピアニカ),宇高杏 那(フルート)	
24. 7. 22	展示室	本橋成一&スズキコージ展 『BEFORE&AFTER 3・11』希望へ	ギャラリートーク	本橋成一(作家), スズキコージ(作家)	72
24. 7. 29	展示室	二紀会茨城支部展 2012	講評会	出品者	35
24. 9. 30	展示室	第 31 回茗溪学園美術展	ギャラリートーク	出品者	60
24. 10. 8	展示室	第4回 つくば美術展〜つたわ る〜	ギャラリーコンサー ト	ギターアンサンブル 「GEN」	52
24. 10. 16	展示室	元気なアートコラボラボ・桜川 芸術祭 vol. 4 「手と手とのあいだ」	パフォーマンス	飯田晃一+コラボパー トナー	10
24. 10. 16	展示室	元気なアートコラボラボ・桜川 芸術祭 vol. 4 「つなぐ・むすぶ」	ギャラリートーク, ワ ークショップ	中村美奈身(作家)	16
24. 12. 8	展示室	「第 28 回 MC 展」平成 24 年度 筑波大学大学院 人間総合科学 研究科 博士前期課程芸術専攻 洋画・日本画・版画作品展	洋画領域講評会	筑波大学洋画領域 担当教員	30
24. 12. 18	展示室	第 67 回県南高等学校連合美術 展	講評会	担当教諭,出品者	125
24 • 12 • 23	展示室	第16回取手松陽美術科展	ミニコンサート	取手松陽音楽科	68
25 • 3 • 5	展示室	第 12 回チャレンジアートフェ スティバル in つくば	オープニングイベン ト, 筝コンサート	筝さらりん	88
25 · 3 · 10	展示室	第 12 回チャレンジアートフェ スティバル in つくば	クロージングイベン ト,ピアノ弾き語り	芽亜利・J	50

合計 886

#### (6) クロッキーの会

実施日:毎月第1火曜日,会場:講座室

美術への関心を深めることを目的として、当館ボランティアの運営により月に1度、クロッキーの会を実施している。 総参加者数 266人

#### (7) 絵画の会

実施日:毎月第3火曜日,会場:講座室

美術への関心を深めることを目的として、当館ボランティアの運営により月に1度、絵画の会を実施している。

人物画、静物画などテーマを決めて制作に取り組んでいる。

総参加者数 164人

# 2 コンピュータグラフィックス (講座室)

お絵かきや塗り絵など、当館オリジナルのソフトが使用できるパソコンを3台設置し、それらのソフトを来館者が自由に利用できる。臨時職員が常駐して指導に当たっており、小学生を中心に幼児から大人まで幅広く利用されている。また、同室内には幼児、小学生用の画集や絵本、図工書を備えた書架を設置している。

総利用者数 693 人

# 3 ビデオライブラリー (講座室)

映像ソフトを視聴する2つのブースを設置しており、来館者は、美術史や技法及び作家紹介のソフト、子ども向けのアニメーションソフトを自由に選択して視聴することができる。

総利用者数 535 人

### 4 ホームページ(http://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp)

●概要 美術館利用者の利便を図り、美術館の情報を発信することを目的としてホームページを作成し、展覧会やイベント案内、貸しギャラリー等の利用案内に関する情報発信を行っている。作成は職員が行っており、毎週内容を更新すると共に、必要に応じて情報を発信している。

#### ●ページ構成 (平成 25 年 3 月現在)

- 1. トップページ
- 2. 展覧会のご案内

イベント情報

美術館からのお知らせ

- 3. 企画展
- 4. 展示予定
- 5. 学芸員だより
- 6. 展覧会出品作品の解説
- 7. うれしいニュース
- 8. 貸しギャラリー
- 9. 土曜講座
- 10. クロッキー・絵画の会
- 11. ボランティア活動
- 12. 利用案内·地図
- 13. 施設紹介
- 14. 関連リンク

#### ●アクセス数 29,328 件

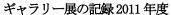
# 5 メールニュース

美術館の展示内容を紹介するニュースレターを、展覧会ごとに希望者に配信している。ホームページの美術館からのお知らせ欄から申し込みを受け付けている。平成25年3月現在、84名に配信している。

# 6 広報印刷物

- ギャラリー展の記録 2011 平成 24 年 7 月
- 平成25年度展示予定表 平成25年3月







平成 25 年度展示予定表